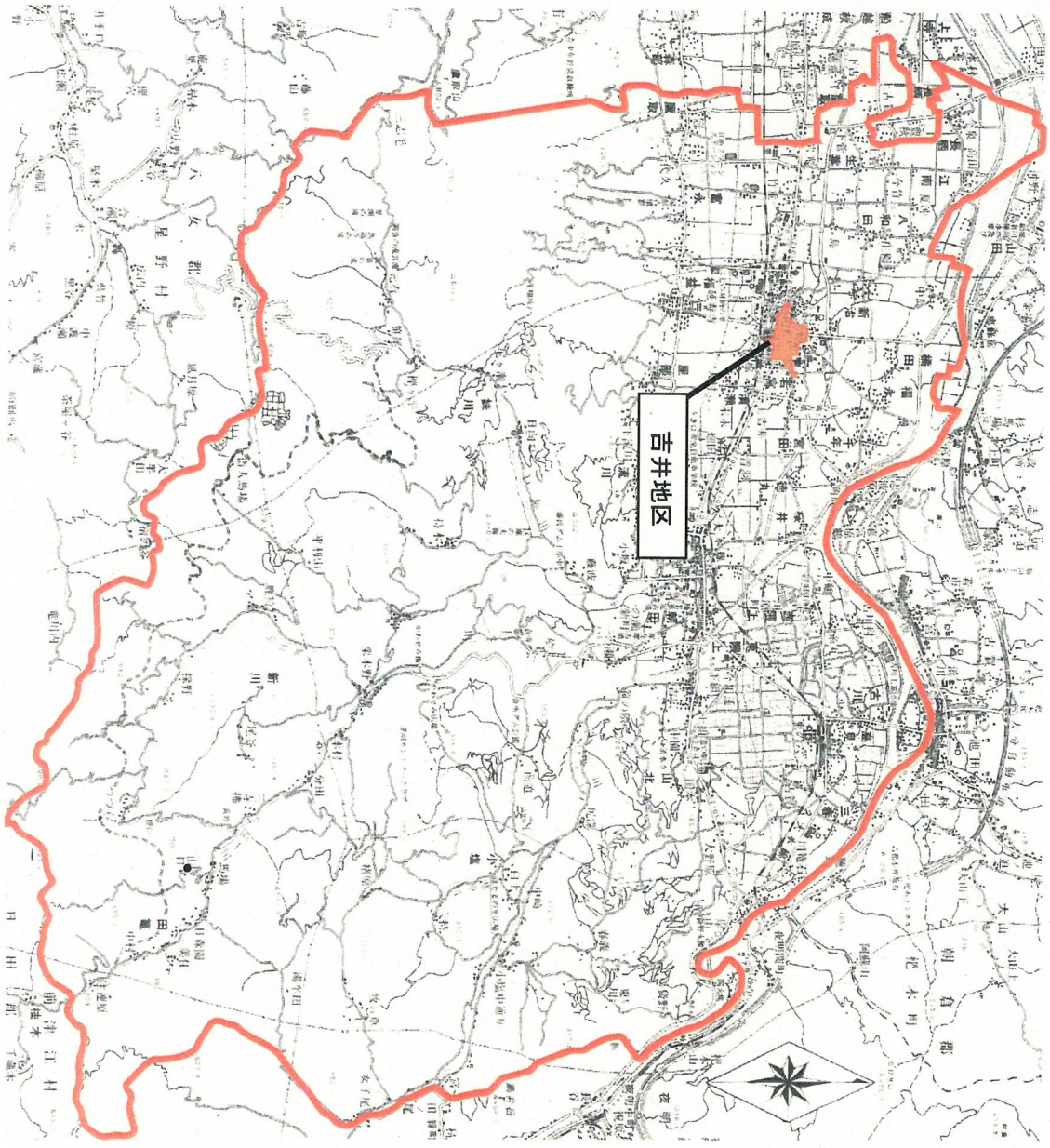
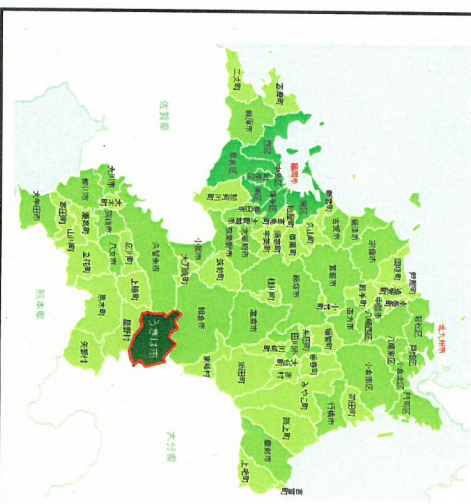


【位置図】

区域名または地区名

吉井地区

市町村位置図



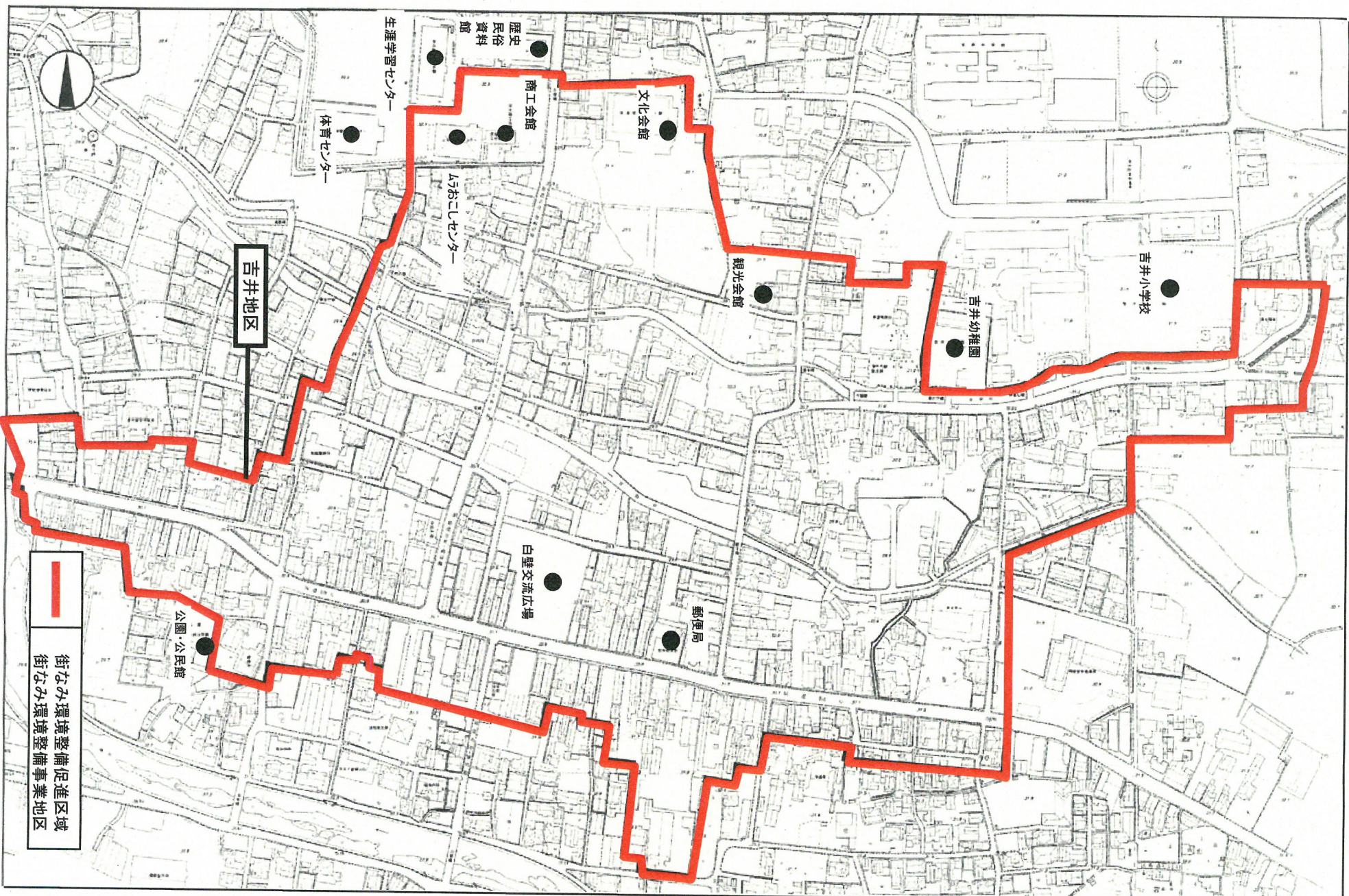
街なみ環境整備促進区域
街なみ環境整備事業地区



【区域図】

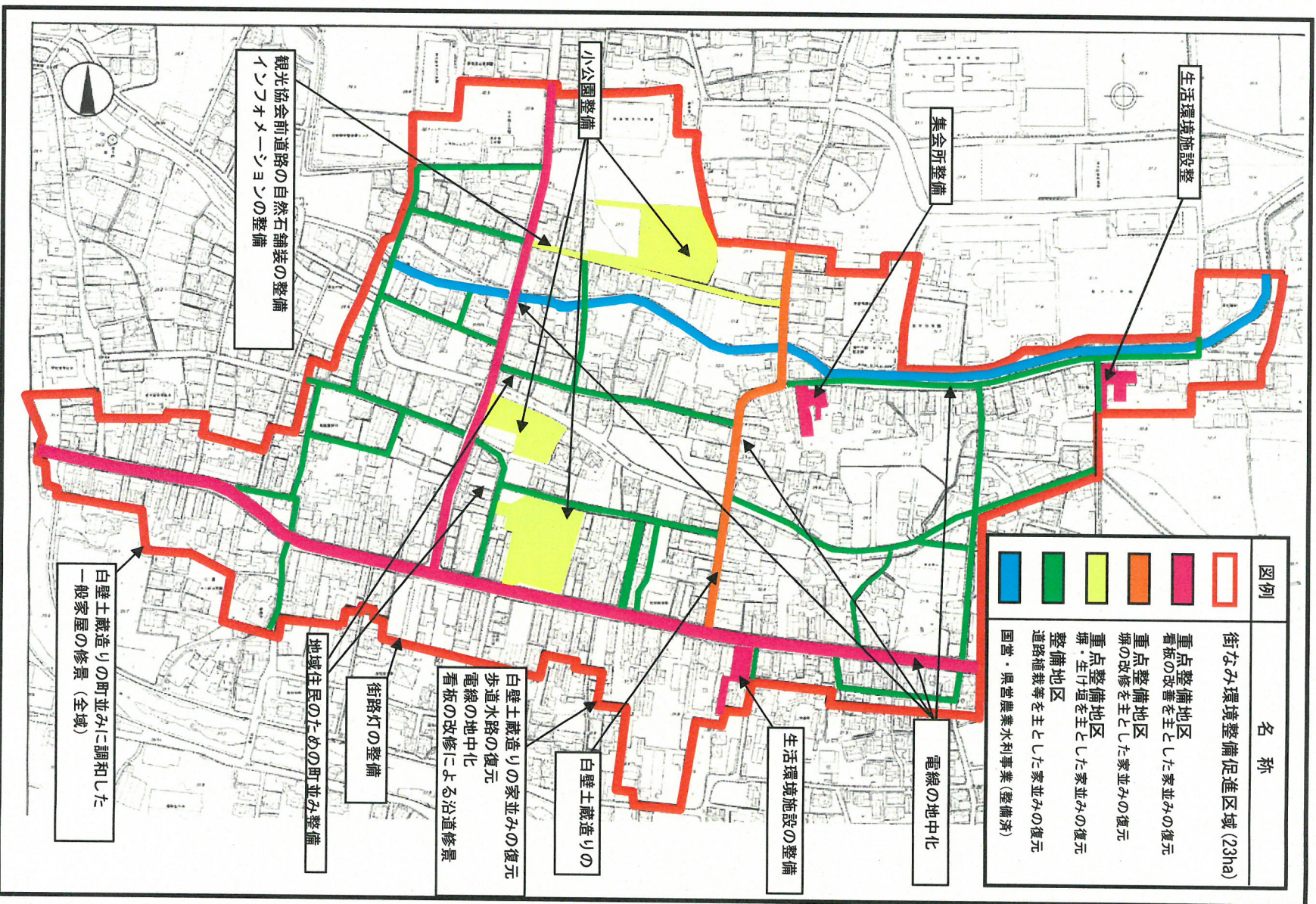
区域名又は地区名

吉井地区



詩風名	叶井菟風
-----	------

叶井地区

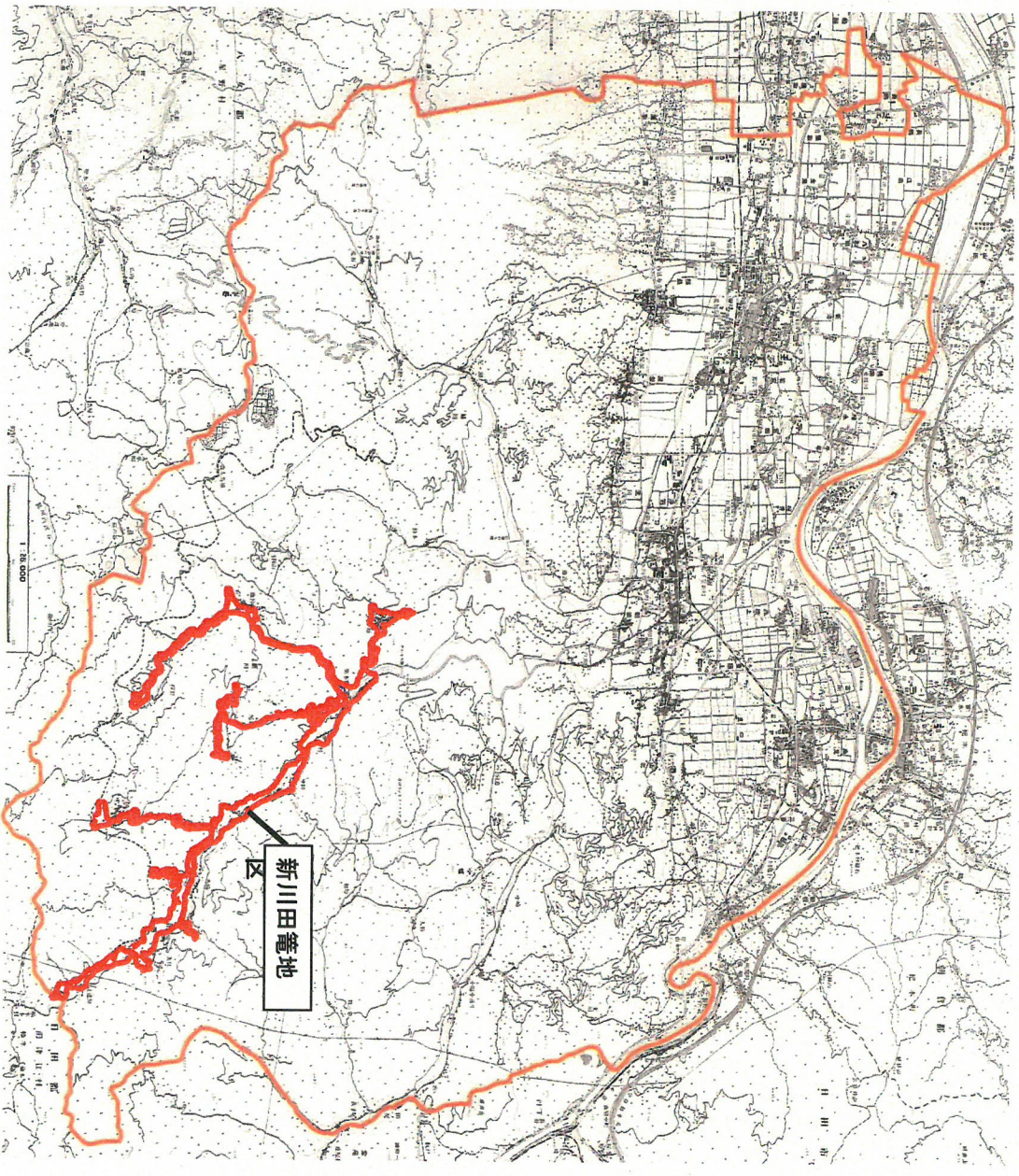


街なみ環境整備方針説明書

都道府県名		福岡県		市町村名	うきは市	区域名	新川田竈
区域現況	区域の概況		新川田竈は、うきは市の南東部に位置し、自然条件の厳しい山間部にあつて隈上川、鹿狩川による水系からそれぞれの場所に応じた巧みな水利によつてつくられた棚田が広がる地域であり、かつ旧往還に沿つて伝統的な山村集落が今も息づく文化的な景観を見せる。				
	道路の現況		区域内の道路は、県道・市道により構成されている。地域の中心部を隈上川と並行して北西から南東に県道朝田日田線が走り、鹿狩川に沿うように市道が地域南西部の集落を循環する骨格となつており、そこから他の市道や農道及び里道によつて宅地や農地が結ばれている。				
	公園等の現況		山村集落であり、神社やお堂など伝統的な交流スペースはあるが、公園等は存在しない。				
	地区住民のまちづくり活動の概要		平成18年に「つづら棚田を守る会」が発足し、棚田オーナー制度をはじめとして地域振興を行政と協働で担っており、平成23年、伝統家屋を活用した宿泊型体験施設「つづら山荘」を集落が主体的に運営するなど地域の魅力を活かした活動が育っている。				
	整備の目標		緑豊かな山林に囲まれ、棚田の石垣や集落の伝統家屋が織りなす歴史的かつ文化的な地域景観を、住民生活を尊重した環境整備により適切に維持保全することで、地域の活性化につながる生活環境の形成を図る。				
区域の整備に関する基本計画	整備の時期		平成23年度～平成32年度（10カ年）				
	地区施設等の整備に関する基本事項	通路等	協議会での検討により、各集落の風致に即した整備を図る。				
		小公園等	協議会での検討により、集落ごとの配置を図る。				
		その他	新川地区と田竈地区の交流を目的とした生活環境施設、街路灯、案内板等のサイン計画及び整備を行う。				
		住宅	今後とも山村集落の歴史的風致を損なわないように、現存する伝統家屋の外観を参照した住宅等の修景を推進する。				
	住宅等の整備に関する基本事項	敷地	周囲境界の段差を石垣や石積として収めることを基本とし、必要に応じて板壁や生垣により沿道景観を調和させる。				
		外構	棚田景観の保全育成を目的として、棚田の自主管理を維持育成するために、水路のメンテナンスや植栽（草刈）により外構修景を図る。				
その他の事項		地元協議会活動（地区施設、街路灯・看板板等の導入や配置検討など）を集落ごとに計画的に支援する。					

区域名または地区名

新川田電地区



区域促進事業整備環境なみ街

